

高次脳機能障害外来開設

高次脳機能障害とは、事故などによる脳外傷や脳梗塞、くも膜下出血といった脳血管障害、心肺停止による低酸素脳症などで脳がダメージを受けたことにより、注意力・記憶力・言語・感情のコントロール等がうまく働かなくなる認知機能の障害です。

以前できていたことがうまくいかなくなり、日常生活または社会生活に支障をきたしますが、外見からは分かりづらく「見えない障害」とも言われます。ご本人も周囲も症状に気づきづらいため、周囲から理解されにくく、ご本人・ご家族は辛い思いを抱えやすくなります。

高次脳機能障害外来では、**学齢期～60歳までの主に就学・就労等の社会復帰をご希望される患者様を対象に、高次脳機能障害に対する評価や、評価結果に基づいた支援を行い、その後適切な医療・福祉サービスにつなげます。**



●病識の低下
自分を客観視することが難しくなり、自身の障害に気づくことができない

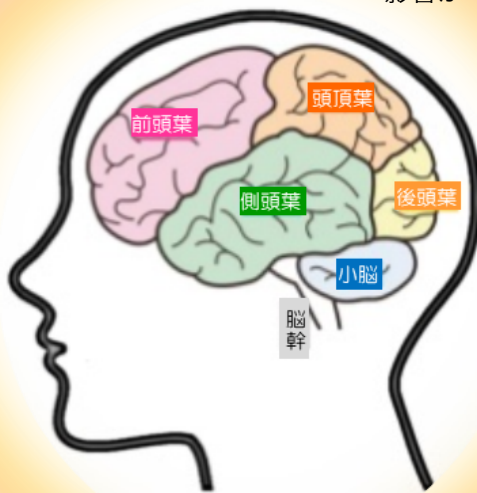
●脳疲労
(神経疲労・易疲労)
脳が疲れやすく、ミスしたりイライラする等さまざまな影響がでる



●注意障害
集中力がない
同時に複数のことができない

●半側空間無視
視力や視野に問題はないが片側のものを認識できない(左側によくぶつかる等)

●遂行機能障害
段取りが悪い
臨機応変に対応できない



●失行
手足は動かせるのに目的にあった動作ができない(道具の使用・着替え等)

●社会的行動障害
些細なことでイライラしやすい
我慢ができなくなる
意欲がわかなくなる
こだわりが強くなる

●失認
視力や聴力、感覚に問題はないが知っているものを見たり聞いたり触ったりしてもそれが何かわからない(よく知っている人の顔を見ても誰かわからない等)



●記憶障害
新しいことが覚えられない
思い出すことができない

●失語
言葉がうまくでてこない
言葉が正確に理解できない



坂田 修治 リハビリテーション科部長

日本脳神経学会 認定医・指導医

日本脳卒中学会 認定医・指導医



社会保険大牟田天領病院

〒836-8566 大牟田市天領町1丁目100番地

TEL 0944-54-8482(代表)